

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	あきる野市高齢者在宅サービスセンター 萩野センター
	所在地	あきる野市雨間 533 番地 1
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係（内線） 2 6 3 2
指定管理者	名 称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川 6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外（植木等のせん定を含む。）、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページ URL		http://www.akirudai-hp.or.jp/houzin/center.html
指 定 期 間		平成 2 5 年 4 月 1 日～平成 3 0 年 3 月 3 1 日

2 施設の利用状況等について

項 目	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
開館等日数（日）	244	268	266		
延べ利用者数 通所（人）	2,325	2,712	3,291		
前年度比（人）	—	387	579		
前年度比（%）	—	116.6	121.3		
延べ利用者数 自主事業（人）	512	1,500	1,791		
前年度比（人）	—	988	291		
前年度比（%）	—	293.0	119.4		
利用料金 合計 通所（千円）	2,137	2,365	2,853		
前年度比（千円）	—	228	488		
前年度比（%）	—	110.7	120.6		
利用料金 合計 自主事業（千円）	411	1,096	1,193		
前年度比（千円）	—	685	97		
前年度比（%）	—	266.7	108.9		

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収 入	指定管理料	14,469	13,916	13,908	
	利用料金収入	2,137	2,365	2,853	
	自主事業収入	411	1,096	1,193	
	収入計	17,017	17,377	17,954	
支 出	人件費	9,903	11,100	11,428	
	維持管理経費	3,889	5,152	5,260	
	自主事業関係経費	4,290	2,471	1,308	
	その他の支出	0	0	0	
	支出計	18,082	18,723	17,996	
収支(収入-支出)	△1,065	△1,346	△42		

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)
通所事業では、利用者への声掛けを第一に心がけ、身体の状態を観察しています。またセンターへの意見、要望及び満足度を声掛けの中から把握しております。げんき応援事業では、講座終了時にアンケートを実施し、顧客のニーズに見合った講座を検討しております。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
栄養管理のできている食事の提供が好評で、利用者にとって通所の一つの楽しみになっております。アレルギー対応をしてくれている食事に安心感を持てるという意見をいただいております。センターは、明るく、笑いの絶えない場所で居心地が良いと利用者に好評です。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)
自立したサロンを目指し、センターの予定表に利用者の自由選択の項目を設けました。高齢であるからできないと思いこんでいたことを少しでも自分で行っていただくようにし、若く元気な方にはご自身でできる事はすべて行っていただくようにしました。また、玄関、階段の空スペースを利用し、パンフレット、チラシコーナーを設置し、明るく元気の良いセンターの雰囲気作りをしています。センターを周知してもらう活動として、自治会回り、口コミ、通所利用者からの紹介、自主事業の利用者への説明などに力を入れました。 自主事業においては、広報紙に目を止めてくださる方、センターのカラフルな看板を見てチラシを持ち帰ってもらえる方が多くなり、たくさんの方が講座に参加してくださるようになりました。 リピーターも増え、萩野センターの活発なイメージが定着しつつあります。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
利用者から座布団を持ってきてもらい、適温保持に努めております。サーキュレーター扇風機でセンター内の室温をかくはんし、均等な温度を保っております。不要な電気は消す、週末や年末年始などはコンセントからプラグを抜くなどして節電を心掛けました。コピー用紙も内容に応じて裏紙を使用する、活動にリサイクル品を使用するなど工夫をしました。設備では業者との協議をすることで経費を抑えるなどして維持管理費を削減することができました。今後も継続して行っていきます。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
通所、自主事業の利用者の増加傾向に伴い、センターの使用頻度が増えており、今後老朽化している施設の修繕が必要になってきております。 これから地域密着で質の高いセンターを目指し、多くの市民の皆様がセンターに来ていただき、センターの持つべき役割を全うしていきたいと思います。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
<p>利用者の身体状況や希望等を、常に観察し、声かけをしていることから、個々の状況に応じた支援が行われており評価できます。また、施設全体の持つイメージの転換のため、熱心に取り組んでいる様子が見られ、その効果が徐々に上がってきています。今後も利用者の増に向けて、啓発・広報活動に努めていただくようお願いします。</p>	
経費削減の取組	
<p>職員はもちろん、利用者を含めたリサイクル活動の意識向上に努めています。施設管理においても、法人全体で経費削減に取り組んでおり評価できます。</p>	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
<p>通所事業・自主事業ともに積極的な事業運営ができており、市民サービスの向上に大きく貢献しています。今後も引き続き啓発・広報活動を実施するとともに、事業の収支バランスの適正化に努めてください。</p>	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。